

現在

- 小学校5年生から「英語に親しむ」教育
- センター試験等による、「知識重視」の大学入試制度

社会や経済の姿が大きく変貌
少子高齢化やグローバル化の進行

次代を担うグローバル人材が必要

【目指す生徒像】

- ・探求する人
- ・挑戦する人
- ・コミュニケーションができる人
- ・振り返りができる人

日本の伝統文化を学んだうえで、自分の意見が言えて、世界で活躍できる人材

高知県のために働く、高知に住んでいても世界を相手に活躍できる人材

高知県で会社を興して、世界を相手に商売できる人材

新しい中高一貫教育校の開校（H33年度グローバル教育科を高校に設置）

- 小学校3年生から「英語に親しむ」教育、小学校5年生から「英語が教科化」（H32）
- 知識だけでなく、「思考力や表現力等を問う」大学入試制度
- 変化に富み複雑化する社会だからこそ、自ずから学び、判断できる若者、産業振興や地域振興を担っていく人材が必要

新しい中高一貫教育校の目指す姿

グローバル教育のトップ校・大学進学への拠点校

- [高等学校] ・普通科 200人（1学年）
- ・グローバル教育科 80人（グローバル系60人、国際バカレア系20人）1学年
- [併設中学校] ・80人（1学年）

- 国公立大学等進学者 125人以上
(難関大学・医学部 10名以上、海外大学5名以上)
- 英語運用能力 中学校3年生：全員がTOEFL57点（英検準2級）以上
高校3年生：グローバル科全員がTOEFL80点（英検準1級）以上、
普通科50%の生徒がTOEFL69点（英検2級）以上
- 国際バカレア資格の取得 20人

現在の高知西高等学校

現在の高知南中・高校

<ul style="list-style-type: none"> ・普通科 240人（1学年） ・英語科 40人（1学年） ○国公立大学進学者 82人（H23～25年度の平均値） 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科 200人（1学年） ・国際科 40人（1学年） ○国公立大学進学者 21人（H23～25年度の平均値）
<p>□確かな学力の育成～大学進学を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別授業（国語、数学、英語で19科目で実施）を実施 ・学習習慣を身に付ける週明けテストや計画的な宿題等の実施。 	<p>□確かな学力の育成～大学進学を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別授業（国語、数学、英語で34科目で実施）を実施 ・学習習慣を身に付ける週明けテストの実施。
<p>□語学力の育成～英語を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導による英語教育（外国人講師1名）、ALT（外国人指導助手）2名 ・スピーチやディベートを実施し、各種大会で活躍。 ・H25年度英語科卒業生で英検2級以上を在学中に取得 30名、普通科は28名。 	<p>□語学力の育成～英語を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別英語教育ALT（外国人指導助手）中高各1名 ・スピーチやディベートを実施し、各種大会で活躍。 ・H25年度卒業生で英検2級以上を在学中に取得 6名、中学校は英検3級以上 39名。
<p>□国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹校への留学（1名）や姉妹校の生徒の来校 ・オーストラリア、イギリスでの短期語学研修 	<p>□国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26年度アメリカへの留学（1名） ・オーストラリア、アメリカでの短期語学研修 ・交流校（2校）の生徒の来校
<p>□キャリア教育（社会性等の育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路学習を中心に将来の生き方を考える 	<p>□キャリア教育（社会性等の育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動や課題研究（インターンシップ、マネジメント学習）

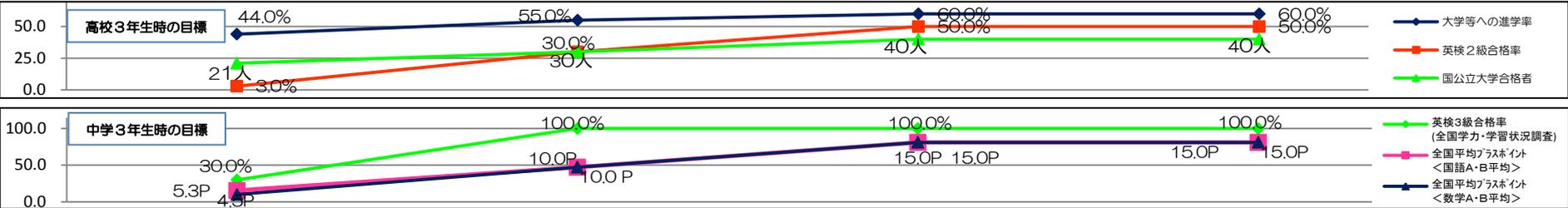
両校を統合

- ・西高校の進学拠点校としての蓄積を継承
- ・「西高校の語学教育」と「南中高の国際理解教育」を発展
- ・南中高の中高一貫教育の蓄積を継承

- より豊かな学力の定着 ～さらなる大学進学を実現
 - ・充実した習熟度別学習（34科目で実施）
 - ・論理的思考力や表現力、国際バカレア資格等を生かした大学進学
- 思考力、判断力、コミュニケーション能力を高める探究型学習
 - ・自ら考え、表現する場面を多く取り入れたプログラム
 - ・海外等を舞台に、自らテーマを設定して課題研究等を実施
- 高度な英語運用能力を養う～英語で学び、英語で考える
 - ・生きた英語を学ぶ（外国人教師5人、ALT5人）
 - ・英語以外も（数学や理科等）英語で学び、思考する（バカレア系）
 - ・国際会議等で研究発表 ・タブレットを活用して海外大学の授業に参加
- 世界とつながるグローバルの拠点
 - ・日本や地域の文化等をしっかり学ぶ
 - ・海外高校等への長期留学（単位互換制度の導入）
 - ・多くの海外留学生（10名）と共に学び、相互理解を深める
- 中高6年間の一貫教育
 - ・高い思考力や語学運用能力、社会性等をしっかりと身に付ける
- キャリア教育
 - ・両校の取り組みを継承、発展
- 中高一貫教育校としての充実した教育環境
 - ・中高の連携に配慮した校舎及びグラウンドの整備
 - ・充実したICT環境（一人1台の1対1ネット環境等）
 - ・国際交流の拠点としての施設の整備 等

統合までの高知南中学校・高知南高校の教育を充実する取組

・統合までの間、これまでのキャリア教育と国際理解教育に加え、ICT（※1）環境の充実や、探究型学習（※2）を取り入れるなど、教育環境を充実させていきます。
 ・学校と高知県教育センター（※3）が一体となって、生徒一人ひとりの進路実現に向けて、しっかりと支援してまいります。



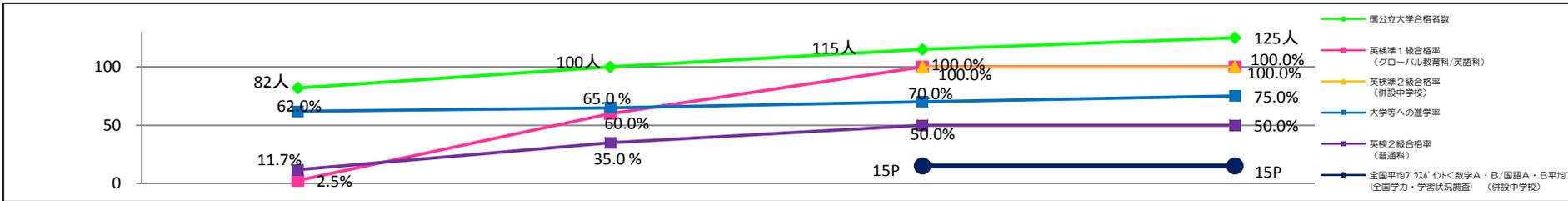
	H26年度	H27~29年度	H30~32年度	H33~34年度	
	探究型グローバル教育の準備	探究型グローバル教育の先行実施	探究型グローバル教育の本格実施	探究型グローバル教育の熟成	
高等学校	■教育センターの研究指定校への準備 ■グローバル教育プログラムの開発 ■国際理解教育 ・英語圏及びアジア圏の文化理解 (留学生1名) ・英検2級の取得 3% (H23~H25年度の平均値) ■学力の定着 ・習熟度別学習 (数学、英語) ・ALT (外国人指導助手) 1名 ■キャリア教育の推進 ・インターンシップ (1年生) ・マネジメント学習 (2年生)	■教育センターの研究校に指定 ・指導主事 (先生を指導する先生) が常駐し、教育活動を支援 ■グローバル教育プログラムの試行 ・国際科で実施 ・自ら課題を発見し、解決策を考える探究型学習の試行 ・コミュニケーション能力を育てる言語活動の充実 ・海外留学への支援の充実 (留学生1名→5名) ■英語運用能力向上 ・生きた英語を学ぶ体制の充実 ALT (1名→2名)、外国人講師 (0名→1名) ・ICT環境の整備 ・ICTの活用 (聞く力、読む力、話す力の育成) ■学力の定着 ・習熟度別学習の充実 (国語、数学で増加) ・中高のつなぎ教材を活用した基礎学力の定着 ■キャリア教育の推進 ・キャリア教育支援員1名配置による企業の体験学習やインターンシップの充実	同左 ■教育センターの機能の一部を移転 ・指導主事が直接生徒へ授業 ・教育センターと一体となって進路実現を支援 ■グローバル教育プログラムの本格実施 ・国際科、普通科のすべての学科で実施 ・県内の生徒研究発表会にて、プレゼンテーション県内No1を目指す。 ・海外留学への支援の充実 (留学生5名→10名) ・海外長期派遣の実施 (留学先との単位互換制度) ■英語運用能力向上 ・3年間で英検準2級取得 100% 英検2級の取得 50% ■学力の定着 ・難関大学への進学を見据えたプログラムの導入	同左 ■教育センターの機能の一部を移転 ・指導主事が直接生徒へ授業 ・教育センターと一体となって進路実現を支援 同左 同左	
	中学校	■教育センターの研究指定校への準備 ■英語教育プログラムの開発 ■語学力の定着 ・英検3級の取得 30% ・ALT (外国人指導助手) 1名	■教育センターの研究校に指定 ・指導主事が常駐し教育活動を支援 ■英語教育プログラムの実施 ・生きた英語を学ぶ体制の充実 ALT各学年1名、外国人講師1名増員 ・3年間で英検3級 100.0%、準2級 50% ・ICTの活用 ■グローバル教育プログラム先行的实施 ・プレゼンテーションの基礎力の習得 ・ICTの活用	同左 同左 ■新しい中高一貫教育校の中学校のグローバル教育プログラムの実践 ・プレゼンテーションの応用力の習得 ・自分の考えを表現できる力の習得 ■統合後の高等学校普通科進学を見据えた教育活動 ・学力定着把握検査を学年ごとに毎年受検	同左 同左 同左
		■学力の定着 ・国語、数学、英語の習熟度別学習	同左	同左	同左

高知南中高での成果が、新しい中高一貫教育校に引き継がれ、県内全校に拡大

※1 ICT (Information and Communication Technology) とは、インターネットを活用した「情報通信技術」の略。
 ※2 探究型学習とは、「課題の設定」「調査 (文献調査・フィールドワーク、実験、観察等)」「整理・分析」「まとめ・表現」という一連の活動に生徒が主体的に参加して、内容と方法をバランスよく学習する手法。
 ※3 高知県教育センターは、各学校や教員の教育活動への指導・助言を行う機関。

「統合後の新しい中高一貫教育校の姿」に向けた取組

- ・グローバル教育の県内トップ校として、ICT（※1）環境の充実や、探究型学習（※2）を取り入れるなど、教育環境を充実させていきます。
- ・これまでの普通科の進学拠点校の取組に加え、グローバル教育の取組を取り入れることで、更なる進路実現に向けてしっかりと支援してまいります。



	H26年度	H27～29年度	H30～32年度	H33年度	H34年度～
普通科	現状 ■学力の定着 ・基礎学力の定着 ・習熟別授業（国語、数学、英語）を19科目で実施 ■語学力の定着 ■キャリア教育の推進（社会性等の育成） ・進路学習を中心に将来の生き方を考える	探究型グローバル教育の準備 ■グローバル教育プログラムの試行 ・自ら課題を発見し、解決策を考える探究型学習 ・コミュニケーション能力を育てる言語活動の充実 ■英語運用能力の向上 ・生きた英語を学ぶ体制づくり ・ICT環境の整備 ・ICTの活用（聞く力、読む力、話す力の育成）	中高一貫型のグローバル教育の実施 ■新しい中高一貫教育校の高等学校のグローバル教育プログラムの実践 ・自ら課題を発見し、解決策を考える探究型学習 ・コミュニケーション能力を育てる言語活動の充実 ■難関大学への進学を見据えたプログラムの導入 ■英語運用能力向上 ・3年間で英検2級取得 50% ・ICTの活用（聞く力、読む力、話す力の発展）	国際バカロレアの準備 同左	国際バカロレアの実施 同左
	英語科 ■キャリア教育の推進（社会性等の育成） ・進路学習を中心に将来の生き方を考える ■グローバル教育プログラムの試行 ■英語運用能力の向上 ・生きた英語を学ぶ体制づくり ALT（2名）、外国人講師（1名） ・ICT環境の整備 ・ICTの活用（聞く力、読む力、話す力の育成） ■国際交流 ・姉妹校への留学（1名）や姉妹校の生徒の来校 ・オーストラリア、イギリスでの短期語学研修	グローバル教育プログラムの試行 ■英語運用能力の向上 ・生きた英語を学ぶ体制づくり ALT（2名～4名）、外国人講師（1名～2名） ・ICT環境の整備 ・ICTの活用（聞く力、読む力、話す力の育成） ■国際交流 ・海外長期派遣の実施（留学先との単位互換制度） ・海外留学への支援の充実（留学生1名～5名）	中高一貫教育校の高等学校のグローバル教育プログラムの実践の導入 ■英語運用能力の向上 ・生きた英語を学ぶ体制づくり ALT（2名）、外国人教員（0～4名） ・ICTの活用（聞く力、読む力、話す力の育成） ■国際交流 ・海外長期派遣の実施（留学先との単位互換制度） ・海外留学への支援の充実（留学生5名～10名）	グローバル教育科 （高校1年生） グローバル教育の基礎学習、英検2級取得100% （高校2年生～2つのコースに分かれる） ■グローバルコース（60名） ・すべての教科で探究型学習 ・自ら課題を発見し探究する活動と課題論文（発展） ・体験活動（生徒が自ら企画して、リーダーシップを養う） ・英検準1級取得 100% ■国際バカロレアコース（20名） 上記グローバルコースの内容に加えて ・国際バカロレアの卒業資格を目指す	国際バカロレア資格 ・国際バカロレア資格取得開始（0～20人） ・国語、英語、数学、社会、理科、芸術の6教科のうち「英語」と以外のもう1教科以上を、英語で授業を実施
併設中学校		■中高一貫教育校としての充実した教育環境の準備 ・中高の連携に配慮した校舎及びグラウンドの整備 ・充実したICT環境 ・国際交流の拠点としての施設の整備 等	新しい中高一貫教育校の中学校のグローバル教育プログラムの実践 ・基礎学力の定着 ・課題解決能力、コミュニケーション能力、英語運用能力の基礎を育成 ・プレゼンテーションの応用力の習得 ・自分の考えを表現できる力の習得 ■英語教育プログラムの実施 ・生きた英語を学ぶ体制の充実 ALT（各学年1名）、外国人教員（1名） ・ICT環境の整備 ・3年間で英検準2級 100% ・ICTの活用 ■グローバル教育科進学を見据えた教育活動 ・学力定着把握検査を学年ごとに毎年受検	同左	同左
			■英語教育プログラムの実施 ・生きた英語を学ぶ体制の充実 ALT（各学年1名）、外国人教員（1名） ・ICT環境の整備 ・3年間で英検準2級 100% ・ICTの活用 ■グローバル教育科進学を見据えた教育活動 ・学力定着把握検査を学年ごとに毎年受検	同左	同左

※1 ICT (Information and Communication Technology) とは、インターネットを活用した「情報通信技術」の略。
 ※2 探究型学習とは、「課題の設定」「調査（文献調査・フィールドワーク、実験、観察等）」「整理・分析」「まとめ・表現」という一連の活動に生徒が主体的に参加して、内容と方法をバランスよく学習する方法。